

令和5年度第1回小金井市図書館協議会 次第

日時 令和5年4月21日（金）午後2時から

場所 図書館本館地階集会室

1 議題

- (1) 図書館協議会の会議録の承認について
- (2) 図書館職員の人事異動について
- (3) 小金井市行財政改革2025に基づく図書館緑分室の委託化について（答申）（案）
- (4) 本館の市民サービス拡大（案）について
- (5) 令和5年度図書館予算について
- (6) 小平市立図書館との相互利用に関する協定とサービス内容について
- (7) 令和5年度小金井市図書館協議会 会議日程（案）について
- (8) その他

2 配布資料

資料1	令和4年度第回小金井市図書館協議会会議録
資料2	小金井市行財政改革2025に基づく図書館緑分室の委託化について（答申）（案）
資料3	本館の市民サービス拡大（案）
資料4	令和5年度図書館予算について
資料5	小金井市及び小平市の図書館の相互利用に関する協定書
資料6	令和5年度小金井市図書館協議会 会議日程（案）

令和 5 年 4 月 日

小金井市教育委員会生涯学習部
図書館長 内田 雄介 様

小金井市図書館協議会
会長 大串 夏身

小金井市行財政改革 2 0 2 5 に基づく図書館緑分室の委託化について（答申）（案）

令和 4 年 1 1 月 2 5 日付け小教生図発第 2 4 号にて諮問を受けました標記の件について、別紙のとおり答申します。

小金井市行財政改革2025に基づく
図書館緑分室の委託化について（答申）（案）

令和5年4月

小金井市図書館協議会

1 答申にあたって

小金井市立図書館では、平成25年に全面改定した小金井市立図書館運営方針の後継として、令和4年3月に小金井市立図書館基本計画（以下「基本計画」という。）を新たに策定しました。基本計画の策定には、私たち図書館協議会も多くの時間をかけて議論を交わし、意見を述べるなど策定に深く関わり、今後の小金井市の図書館サービスの充実発展に繋がる計画を策定できたと思っています。

この間の図書館をとりまく状況をみると、新型コロナウイルス感染症が社会へ与えた影響は非常に大きいものでありましたが、様々な感染症対策の結果、ようやくアフターコロナを考える時期になってきています。このような中、昨年の11月に私たち図書館協議会に図書館長から小金井市行財政改革2025に基づく図書館緑分室（以下「緑分室」という。）の業務委託について諮問が行われました。小金井市の図書館運営における業務委託は、平成26年4月の図書館貫井北分室、平成27年8月の図書館東分室と順に実施され、両分室とも開館日の増加や開館時間の延長、創意工夫に基づく行事の実施など、市民から好評を得ています。

今回、諮問された緑分室は、公民館との複合施設である小金井市緑センター（以下「緑センター」という。）内に設置された図書館分室です。緑分室を併設した緑センターは昭和48年に開館した小金井市青少年センター（以下「青少年センター」という。）を前身とした公民館と図書館の複合施設として平成3年10月に開館し、青少年の健全育成と教養の向上を図るための事業と施設をレガシーとして、宿泊施設機能、野外調理場、テニスコートを活用して、青少年の社会教育に重点を置いた活動を行うなどの特徴を持った施設です。また、隣接する浴恩館公園敷地内には文化財センターがあり、市内から発見された考古資料や古文書・民具などをもとに、市のあゆみや生活についての常設展示が行われ、公園内には市の天然記念物のツツジ群などもあり、子どもたちが自然に親しめるような環境となっています。

このような特徴をもった緑センターに併設された緑分室に係る諮問について、図書館協議会として基本計画において今後の方向性として示された「市民サービスの向上を図るため、さらなる市民協働・公民連携を検討する」方針に基づき協議を重ねましたので、ここに答申いたします。

2 答申

次のとおり緑分室の業務委託に際して、配慮又は留意すべき事項について提言します。小金井市教育委員会及び小金井市には、この答申を真摯に受け止め対応する

ことを期待します。

(1) 緑分室の開館日数及び開館時間について

併設されている公民館の休館日である第1・第3火曜日を、緑分室の休館日とし、開館日数を増やすことが利用者にとって有益と考えられます。

また、開館時間を他の2つの分室と同様に午前9時から午後7時までと延長することが利用者にとって有益と考えられますが、緑センターの立地や開館時間を延ばすことによる業務委託料の増加など、行政として適切に判断してください。

(2) 緑分室の施設の老朽化について

全体的に閲覧室内の照明が暗いため、LED化など照明器具の改善を行い、読書に適した照度となるように対応してください。

また、閲覧スペースなどの充実が図られるよう検討してください。

(3) 緑分室の地域資料の充実と文化財センターとの連携について

緑分室は、「答申にあたって」で述べたように文化財センターと隣接し小金井市の歴史と市民生活を知る上で、また、地域への愛着を育む上で、重要な役割を持っています。緑分室の地域資料を一層充実させ、文化財センターの資料や活動と一層密接な関係をもった事業・サービスを展開することで、その役割をよりよく果たしていくことが期待されています。

この点について、充実が図られるよう十分な配慮をお願いします。

(4) 図書館蔵書保管体制の見直しについて

現在、緑分室には、能力を超えた蔵書が保管されています。市民が蔵書を利用する空間として、もっと余裕を持たせることが望まれます。しかし、小金井市図書館全体としても蔵書保管能力を超えている現状です。保管能力は、建て替えなど施設の拡張を行わない限り、増えることはありません。

市として貴重な地域資料や残すべき行政資料などの除籍できない資料は、年を重ねるごとに増える一方であり、施設の拡張を望めない現状において課題を解決するには資料の外部保管を進めるなど早急な対応を求めます。

また外部保管にあたっては、温度や湿度管理など保管資料が適切に保管される環境となるよう配慮をお願いします。

(5) 図書館サービスのDXの推進について

これからの図書館においてDXの対応は必須であるが、現状の緑分室においては通信機器や環境の整備が遅れています。

よって、現在未設置である利用者用インターネット端末の設置、施設利用者が

利用できる wifi 環境の整備を優先的に実施することを求めます。

さらに、市民のなかで ICT 技術を持つ人たちの協力も得て、市民の調べる能力、ICT 技術の向上等に取り組むなどの取組を検討してください。

(6) 既存事業の継承について

緑分室で実施し実績がある既存事業については、業務委託後においても可能な限り事業が継承されるよう十分な配慮を求めます。

(7) 地域等との連携の推進について

隣接する緑小学校や緑中学校、緑児童館や地域団体など近隣地域との連携について、受託事業者が業務委託後もスムーズに連携をとることができるよう、市が十分なサポートを実施してください。

(8) 図書館就労者の司書資格について

受託事業者の責任者やレファレンス担当者など責任ある役割に司書の有資格者が確実に配置されるよう十分な配慮をお願いします。

これからの図書館サービスにおいては、司書の有資格者には有資格者にしかできない業務を任せ、資格がなくともできる業務については、司書資格の有無を問わずその業務に必要な能力のある者に任せることも必要です。そうすることで、地域の人材を柔軟に採用できるなど、地域の人材活用にも繋がっていくことが期待できます。

(9) 受託事業者への引継ぎについて

受託事業者が業務委託後の業務をスムーズに実施できるよう、マニュアルの整備など適切に実施してください。更に、受託事業者の職員においても、小金井市政の業務に携わる者として必要な一定の行政知識を備えられるよう、市が十分なサポートを実施してください。

また、業務委託後も、受託事業者と市において、日々の業務で発生した事案とその対応などが速やかに共有されるよう、適切な連携体制の構築を求めます。

(10) 図書館本館の役割について

緑分室を業務委託した場合、図書館本館のみが直営となるが、業務委託となる分室を取りまとめる本館として、また小金井市の図書館行政の全体を統括する本館として、より一層の責任と能力が図書館本館に求められます。

図書館本館がこの責任をしっかりと果たせるよう、本館職員の人材育成や本館機能の改善に努めてください。

3 結びに

行政を取り巻く社会経済情勢は非常に厳しく、小金井市の財政状況も庁舎建設などの大きな課題を抱える中でとても厳しいものであることは理解しています。

そのような中、図書館が置かれた状況を考えると、コンピュータ情報通信ネットワークを基盤とした新しい、また変化が激しい時代が到来して、学び直しの重要性が高まるとともに、新たな領域・テーマでの学びも求められるようになっていきます。

さらに、そうした時代を生きる人材の育成のために読書の重要性が認識され、地方自治体においては関連する計画も策定され、地域での読書活動推進の中心的な役割を果たすことを図書館は求められています。

また、急速なIT環境の変化に伴い、従来の昔ながらの図書館サービスでは時代に対応できなくなっており、図書館サービスを大きく見直すことが求められています。

以上を踏まえ、私たち図書館協議会は小金井市の社会教育の根幹を担っている図書館サービス充実を大前提とし、緑分室の業務委託について上記のとおり提言します。

今回の答申は、「緑分室の業務委託を検討するにあたって、どのような配慮、留意事項が必要なのか」との諮問に対し、図書館協議会としての意見をまとめたものです。同時に、その内容は小金井市の図書館全体に共通する内容を含んでいることを図書館協議会条例第2条第2項の意見として付言します。

私たち図書館協議会は、小金井市への期待を込めて、ここに答申いたします。

本館の市民サービス拡大（案）について

1 背景

令和3年に実施した、満16歳以上の市民を対象にしたアンケート調査^{※1}（以下、「市民アンケート」という。）では、「今後、市立図書館で充実して欲しいもの」との質問に対し、「開館日・開館時間の拡大」とする回答は23.1%でした。また、同時期に実施した、市立図書館への来館者を対象にしたアンケート調査^{※2}（以下、「利用者アンケート」という。）では、41.9%と最も高い値となりました。令和4年3月策定の図書館基本計画において、「開館日・開館時間の拡大」は課題として挙げられています。

ところで、小金井市では現在、「行財政改革2025」に取り組んでいます。行財政改革とは、地方自治法に定められる、地方自治体の最も重要な役割とされる住民の福祉の増進と、最小の経費で最大の効果をあげるため、時代に即した行政需要に的確に対応し、制度や組織、運営の在り方を見直し、行財政運営の適正化・効率化を図るものであり、「行財政改革2025」も、課題や行政需要を的確にとらえ、戦略的に経営資源を配分し、高い実効性の確保を目指すものです。

小金井市立図書館では、「行財政改革2025」にもとづき、緑分室の委託化を推進しています。これにより、緑分室の更なる市民サービス拡充^{※3}を図るとともに、委託化により生み出した職員の適切な配置による「質の改善」によって、合わせて以下のとおり図書館本館の開館日・開館時間の拡大に努め、両アンケートに見る市民からの期待に応え、課題を解決したいと考えています。

※1 調査期間…令和3年8月23日～9月13日

調査方法…郵送により配布・回収・WEB回収併用

標本抽出…住民基本台帳からの無作為抽出

有効回収数…865人

※2 調査期間…令和3年10月20日～11月22日

調査方法…館内に調査票と回収ボックスを設置

有効回収数…160票

※3 他の委託館と同様に、開館時間を午前9時から午後7時まで、休館日を第1・第3火曜日とすることを目指しています。

・ 現状 （開館時間）午前10時～午後5時 （休館日）火曜日・第1金曜日・祝日

・ 予定 （開館時間）午前9時～午後7時 （休館日）第1・3火曜日

・ 効果（概算） 年間52日の開館日拡大、1日3時間の開館時間拡大、年間1174時間の開館時間拡大となります。

2 本館の市民サービス拡大について

(1) 現在の17時以降における図書館利用状況

ア 市民アンケート結果

「図書館に来館しやすい時間帯」のうち、「平日」は、「17時～19時」が11.5%、「19時以降」は11.9%と、ほぼ同数でした。「土日祝日」は、「17時～19時」が19.5%、「19時以降」が27.5%となりました。実際の「主な利用時間帯」は、「17時～19時」が7.2%、「19時以降」は0.3%でした

イ 利用者アンケート結果

「図書館に来館しやすい時間帯」のうち、「平日」は「17時～19時」が12.0%、「19時以降」が6.7%でした。「土日祝日」は、「17時～19時」が33.3%、「19時以降」が25.0%となりました。実際の「主な利用時間帯」は、「17時以降」は4.4%でした。

ウ 小金井市立図書館 時間帯別利用者数（別表）

令和4年8月以降、本館で利用された時間帯別の1日当たり平均利用者数と、本館出入口で調査した17時以降の平均来館者数です。

(2) 市民サービス拡大案

ア 開館日（休館日）の見直し

現在、本館では原則、月曜日・第1金曜日・年末年始・蔵書点検期間を休館日としています。

資料整理、施設の保守・点検、修繕や職員の事務作業に必要なため、毎週月曜日に加え、第1金曜日を休館日としています。しかし、現在の休館日のありかたは、1日で終了しない作業の日程調整が難しく、作業が数週間にわたることもあります。

そこで、第1金曜日の休館日を見直し、例えば、火曜日にすることで、月曜日と続けて2日間の休館日として作業の幅を広げたいと考えています。

イ 開館時間の見直し

「開館日・開館時間の拡大」を望む市民要望が強いなか、現在も、本館では水・木・金曜日は20時まで開館しています。しかし、(1)の各調査からは、「図書館に来館しやすい時間帯」として平日、19時以降を挙げる市民は10%前後にとどまり、また、実際に来館される市民も極めて少ないことがわかります。

そこで、20時までとじているところを19時までに見直す一方、現在17時で閉館している火・土・日・祝についても19時まで拡大することで、より実態にあった、市民サービスの拡大を図りたいと考えています。

3 効果（概算）について

(1) 現状

ア 開館時間 午前10時～午後5時
平日の水・木・金曜日は午後8時まで（1階のみ）

休館日 月曜日・第1金曜日・年末年始・蔵書点検期間等

イ 予定

開館時間 午前10時～午後7時
ただし、2階は午後5時まで

休館日 月曜日・月1回の資料整理日・年末年始・蔵書点検期間等

ウ 効果（概算） 1日2時間の開館時間拡大、週3時間の開館時間拡大、年間150時間の開館時間拡大となります。

※ 以上は現在調整中のものですので、今後変更となることもございます。予めご了承ください。

小金井市立図書館 時間帯別利用者数

本館 図書利用カード 1 日当り平均利用者数

(単位：人)

	令和 4 年					令和 5 年			平均
	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	
1 0 時～	52	48	43	43	38	54	44	39	45
1 1 時～	49	44	47	44	44	59	48	39	47
1 2 時～	33	29	32	36	36	44	39	31	35
1 3 時～	35	32	35	36	36	45	35	31	36
1 4 時～	40	37	39	39	43	51	41	38	41
1 5 時～	46	40	42	42	47	51	45	40	44
1 6 時～	60	52	53	50	51	64	54	48	54
1 7 時～	22	21	20	17	20	22	23	17	20
1 8 時～	17	15	14	13	16	17	14	15	15
1 9 時～	13	11	10	10	14	15	12	13	12

本館 1 7 時以降 1 日当り平均来館者数 (令和 4 年 8 月～令和 5 年 3 月)

(単位：人)

時間帯	17:00～ 17:30	17:30～ 18:00	18:00～ 18:30	18:30～ 19:00	19:00～ 19:30	19:30～ 20:00	計
平均人数	10	9	8	7	5	4	43

小金井市図書館協議会会議資料

令和5年4月21日

生涯学習部図書館

令和5年度図書館予算について

1 歳出予算総額（前年度対比）

（単位：千円）

	令和4年度	令和5年度	対前年度比	
事業	136,050	135,448	99.56%	▲ 602
維持管理	15,453	19,138	123.85%	3,685
計	151,503	154,586	102.03%	3,083

2 図書購入に係る歳出予算額（前年度対比）

（単位：千円）

	令和4年度	令和5年度	対前年度比	
図書	43,141	43,846	101.63%	705
電子図書	1,923	1,923	100.00%	0
計	45,064	45,769	101.56%	705

3 令和5年度の特徴的な歳出予算

（単位：千円）

図書館基本計画・事業		予算項目	予算額
1-1-1	建物・設備・備品の点検、補修、修繕を適切に行います。	図書館本館照明修繕	2,208
		図書館書架レイアウト変更作業等委託	2,609
1-3-1	図書館サービスへのICT活用を検討します。	回線使用料	418
2-1-2	子どもに関わりのある団体へ団体貸出を行います。	学級文庫貸出パック(増額分)	705



小金井市及び小平市の図書館の相互利用に関する協定書

小金井市教育委員会（以下「甲」という。）と小平市教育委員会（以下「乙」という。）とは、小金井市立図書館及び小平市立図書館（以下「図書館」という。）を小金井市民及び小平市民による相互の利用（以下「相互利用」という。）に供するため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲及び乙が図書館の相互利用を実施することにより、甲及び乙の図書館奉仕の充実を図り、市民の自主的な学習活動の場を広げるとともに、資料の収集及び保存について相互に協力を進め、もって市民の教養の向上及び文化の発展に寄与することを目的とする。

（相互利用に供する図書館）

第2条 相互利用に供する図書館は、甲及び乙が管理する各図書館とする。

（利用者）

第3条 前条の図書館を利用できる者は、小金井市又は小平市に居住する者とする。

（サービスの範囲）

第4条 この協定により図書館を利用する者（以下「利用者」という。）に貸出のできる図書館資料は、図書館が貸出の用に供するため所蔵する資料に限るものとする。

2 この協定により利用者に貸出のできる図書等の種類及びサービスの範囲は、別に定めるものとする。

（開始日）

第5条 甲が管理する図書館は、令和5年4月1日から小平市民の利用に供するものとする。また、乙が管理する図書館は、令和5年5月24日から小金井市民の利用に供するものとする。

（相互利用の方法）

第6条 図書館の相互利用の方法は、この協定に定めるもののほか、図書館に関する条例、規則等の定めるところによるものとする。

（個人情報の保護）

第7条 甲及び乙は、個人情報の保護に関する法律等の定めるところにより、利用者の個人情報の保護に努めなければならない。

（連絡会議）

第8条 図書館の相互利用を円滑に実施するため、必要に応じて担当者による連絡会

議を開催する。

(協議)

第9条 この協定に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、甲及び乙が協議の上定める。

(効力の発生)

第10条 この協定は、令和5年4月1日から効力を生じるものとする。

この協定の成立を証するため、本書2通を作成し、甲及び乙が署名押印の上、各1通を保有するものとする。

令和5年3月29日

甲 東京都小金井市前原町3丁目41番15号

小金井市教育委員会

教 育 長

大熊 雅士



乙 東京都小平市小川町2丁目1333番地

小平市教育委員会

教 育 長

小川 正之



相互利用に関する図書等の種類及びサービス範囲

項 目		図書館のサービス範囲	
		小金井市立図書館	小平市立図書館
利用対象館		全館（１館３分室１図書室）	全館（８館３分室）
利用登録対象者		小平市内居住者のみ （小平市内通勤・通学者は不可）	小金井市内居住者のみ （小金井市内通勤・通学者は不可）
団体登録・団体貸出		不可	不可
貸出冊数	図書・雑誌	制限無	５冊以内
	視聴覚資料	ＣＤ、カセットテープ５点	ＣＤ、カセットテープ１点 ※ＤＶＤ 貸出不可
貸出期間		３週間以内 視聴覚資料２週間以内 （予約がない図書・雑誌の場合のみ延長１回１週間が可能）	２週間以内 （予約がない場合、延長１回が可能）
返却場所		全館（１館３分室１図書室） ブックポスト（視聴覚資料除く）	全館（８館３分室） ブックポスト（視聴覚資料除く）
予約・リクエスト		所蔵資料のみ可 但し新刊本は１２か月不可	不可（取り寄せ含む）

資料 6

小金井市図書館協議会会議資料

令和 5 年 4 月 2 1 日
生涯学習部図書館

令和 5 年度 小金井市図書館協議会 会議日程表 (案)

開催日	時間	会議名	場所
令和 5 年 4 月 2 1 日 (金)	14 : 00～16 : 00	第 1 回協議会	本館地階集会室
令和 5 年 9 月 1 5 日 (金)	14 : 00～16 : 00	第 2 回協議会	本館地階集会室
令和 5 年 1 1 月 1 日 (水)	委員改選		
令和 5 年 1 1 月 1 7 日 (金)	14 : 00～16 : 00	第 3 回協議会	本館地階集会室
令和 6 年 1 月 1 9 日 (金)	14 : 00～16 : 00	第 4 回協議会	本館地階集会室
令和 6 年 2 月	未定	視察	未定

※ 三者合同会議は、日程・場所未定